

72

内閣情報部三・七 情報第三號

重慶ロイテル新聞電報放送(四日)

(朝鮮總督府遞信局聴取)

現在支那の被占領區域に於ては日本側によつて編成され、その指揮下に行動してゐる五十萬の支那人傀儡軍があるが、昨年中に之等傀儡軍の十五萬餘が叛亂を起して支那軍に合流したと本日當地で正式に發表された。北支の傀儡軍は齊燮元(註)臨時政府治安部總長)中支は仁援道(註)維新政府綏靖部長)、南支は汪精衛の指揮下にある、之等の部隊は「防共軍」、「綏靖軍」、「和平軍」として知られてゐるが、之等を汪精衛の統率する「和平救國軍」に改編する計畫が爲されてゐる、之等の部隊は日本側の占領地域で徵募された壯丁や土匪より成つてゐると。

73

内閣情報部三・七

情報第四號

上海ロケアル新聞電報放送(四日)

(朝鮮總督府遞信局聴取)

人事行政會議の主なる議題は行政官者の調整と文官制度の樹立であつたといはれ、提案の大部分は内政部提出のものだつたと解されてゐる。今朝の會議を批評し、政府機關紙の「中央日報」は次の問題の重要性を強調してゐる、

- (一) 才能ある人物を求め、之に「出来る限りの良い待遇」を與へること、
- (二) 「すべての文官に自尊心と自信を齎す」如き文官制度の精神陶冶、
- (三) 官署乃至職務の重複を避けるため行政制度を一本化し、各官署の職權を明確にすること、

(四) 文官の「良俗」を振起すること。